

◆書くこと領域で学習した「書き方」について、教科等横断的視点でマネジメントを行います。それぞれの教科の特性を生かし、学習内容を意図的・計画的に配列していくことで、全ての教科や活動を通して、論理的に書く力を高めていくことが大切です。

一 「おもちゃの作り方」 小学校 第 二 学年

★まとまりごとに区切り、順序よく説明する文を書く。

けん玉の作り方
 <ざいりようとうぐ>
 <作り方>
 まず、毛糸のはしを . . . つぎに、毛糸のはんたいがわの . . . それから、その毛糸を . . .
 <あそび方>

◎生活「うごくおもちゃをつくらう」で、一年生へ渡す（一年生と一緒に遊ぶ）おもちゃの作り方を順序よくまとめて書く。

二 「食べ物のひみつを教えます」 小学校 第 三 学年

★文章の組み立て「はじめ」「中」「終わり」を考え、例をあげて説明する文を書く。

いろいろなすがたになる米
 米には、いろいろな食べ方のくふうがあります。
 まず、米を . . . くふうがあります。米をといで、 . . .
 次に、おして食べるくふうがあります。もち米という . . .
 さらに、こなにしておべるくふうもあります。もち米をこなに . . .
 このように、米は

(はじめ)
 (中)
 (終わり)

◎社会「スーパーマーケットの売り場のくふう」「スーパーマーケットではたらく人のくふう」「農家の仕事」「工場の仕事」「古い道具と昔のくらし」など、見学に行ったことやインタビューしたことなど具体例をあげて説明する文を書く。

三 「自分の考えをつたえるには」 小学校 第 四 学年

★自分の考えを決め、組み立てを考えて理由を伝える文を書く。

わたしは、もし、夏休みに遊びに行くならば、山がいいと思います。その理由は、三つあります。
 一つ目は、 . . . からです。遠くを見わたすと、 . . . 気持ちになります。
 二つ目は、
 三つ目は、

(はじめ)
 (中)
 (終わり)

◎「アップとルーズで伝える」では説明の仕方の工夫について、「ごんぎつね」では好きな場面とその理由について書く。

◎社会「消防しよの人たちのひみつ」「けいさつの仕事」「じょう水場から水が送られるしくみ」など、それぞれ「ひみつ」「仕事」「しくみ」がいくつあるか、整理して書く。

◎日記「○○については、Aがよいか、Bがよいか。」というテーマを示し、自分の立場を明らかにしながらそう考える理由について書く。

四「グラフや表を用いて書く」 小学校 第 五 学年

★目的に合った資料を選び、何をどの順序で書くかを考え、資料と文章を対応させて書く。

- ・資料 数を示したい↓グラフや表 図解したい↓図 実際の様子を見せたい↓写真
- ・自分の考え 資料から考えられることが、自分の考えをうらづけるものになっているかどうか判断する。また、資料から分かることと、自分が考えたことを分けて書く。
- ・構成 「自分の考え（初め）」「グラフや表の説明と、それをもとに考えたこと（中）」「まとめ（終わり）」という組み立てで書く。

◎社会「これからの工業生産とわたしたち」では、日本の輸出・輸入の特徴等をグラフにし、分かったことや考えたことをまとめる。

◎理科「ふりこのきまり」では、実験結果をグラフ等に表して分かったことをまとめる。

五「未来がよりよくなるために」 小学校 第 六 学年

★構成を整理しながら、説得力のある意見文を書く。

- （初め） ・「自分の意見」
- （中） ・「根拠となる出来事・資料」 実際にあったことや、それらの記録（具体例・予想される反論と、それに対する考え」 引用など）と、自分の考えを区別して書く。
- （終わり） ・「自分の意見と、まとめ」

◎社会「世界の未来と日本の役割」において、テーマを選んで意見文を書き、新聞に投書する。

◎保健「喫煙の害」「飲酒の害」「薬物乱用の害」で学習したことを踏まえ、意見文を書く。

六「根拠を明確にして意見を書く」 中学校 第 二 学年

★課題に対する自分の意見と根拠を明らかにし、構成を考えて意見文を書く。

- （初め） ・「書き出し」 課題を示し、それに対する自分の意見を簡潔にまとめる。
- （中） ・「根拠」 自分の意見を支える根拠を説明する。具体的な事実と、それに対する見方や考え方を書く。事実や調べたことを表す文末表現と、考えを表す文末表現を使い分ける。
- ・「反論を踏まえた考え」 反論と、反論を踏まえて考えたことを書く。
- （終わり） ・「まとめ」 根拠や反論を踏まえ、改めて自分の意見をまとめる。

◎体験したことや身の回りの出来事、メディアを通じて伝えられる世の中の出来事に対する意見を新聞に投書する。また、新聞に投書された文に対する自分の意見をまとめ、投書する。

◎総合的な学習の時間のテーマとして「防災」を取り上げ、社会「自然災害と防災への取り組み」、理科「自然の恵みと災害」、家庭科「災害に備えた住まい方」等の学習と結び付けて意見文を書く。